



袋井あやぐも学園
袋井市立袋井中学校だより



幼小中一貫カリキュラムにより自主（Iの力）と（Weの力）を育成する学園

— 自主・協同 —

～夢を追い続ける生徒の育成

令和4年12月23日発行

2学期が終了しました

2学期も新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、生徒が安全・安心に学校生活を送ることができるように進めてきました。あやぐも祭(合唱コンクール)などの学校行事では、保護者の皆様の御理解・御協力により、予定されていた行事を無事に行うことができました。ありがとうございました。

＜終業式 小澤校長先生の話（一部抜粋）＞

皆さん、おはようございます。今日で2学期が終了となりますが、みなさんにとって充実した学期となったのでしょうか？

2学期の始業式で、スタンフォード大学の I.D クランボルツ 名誉教授が「キャリアの8割は偶然に決まる」「個人の8割は予想しない偶発的なことによって決定される」という話をしたことを覚えているでしょうか？ただ、漠然と過ごすのではなく、よい偶然をチャンスに変えるためには、「好奇心」、「持続性」、「楽観性」、「柔軟性」、「冒険心」の5つをもっていることが大切ですよというものです。

2学期を過ごした中で、これは自分にとってはよい偶然の機会だったな、それによって自分が高められたという実感が一つでもあればとてもうれしく思います。

先ほど、各学年代表が発表をしてくれましたが、その発表に共通していたことは、あやぐも祭や委員会活動などに取り組むなかで、予想していなかった課題にぶつかったときに、個人として、友達との協力のもと集団として、自分たちの力で乗り越えていったことがあったことです。

袋井あやぐも学園で大切にしていることは「主体性」です。私は各学年代表の発表の中に、それぞれの課題に対して主体的に取り組んだことが、自己の成長につながっていたことを知りとてもうれしく思いました。

さて、皆さんも知ってのとおり、サッカーワールドカップでは日本の大活躍がありました。このチームを率いた森保一監督は次のように言っています。

目指したのは「強豪相手にも自分たちの意思を持って主体的に戦えるチーム」

森保監督が求めていたことは、強豪相手でも受け身にならず、自分たちの意思を持って主体的に戦えるチームです。NHK で放映された中村憲剛さんとのインタビュー番組で、森保監督は「守勢になったとしても、その状況の中で、何ができるかを選択と決断をして戦う。苦しい戦いになっても、自分たちが崩れることなく、主体的に考えて戦うことはやっていきたい」と語っていました。私は日本代表がこのような主体性を重視してきた力が強豪のドイツやスペインを逆転で勝利したことにつながっていると思えました。

日本代表でも袋井あやぐも学園でも目指している「主体性」は同じです。みなさんには、日々の生活の中で、小さなことでもいいから自分で考えて、自ら行動することをこ

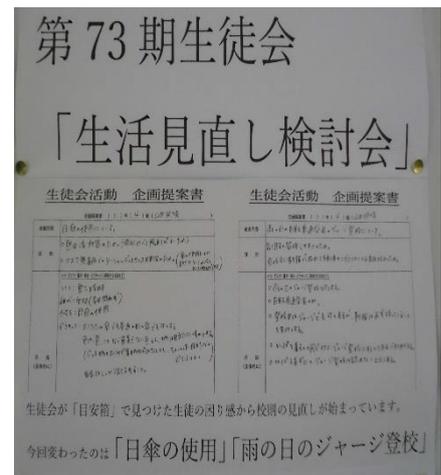
れからも大切にしていってください。

続いて、生徒のみなさんが主体的に取り組んでいる他の事例を紹介します。生徒ホールの廊下にある掲示には、「制服見直し検討会」の取組が掲示されています。

生徒会が「目安箱」で見つけた生徒の困り感から校則の見直しを始めています。この検討会からの提案を先生方と一緒に協議をして、日傘の使用と自転車通学生の雨の日のジャージ登校ができるように見直しがされました。生徒のみなさんが考えたことによって実際に学校生活がより過ごしやすくなったのはとても価値あることです。

みなさんも知ってのとおり、先日制服についてのアンケートを実施しました。そのアンケート結果を踏まえて、生活見直し検討会ではこれからの制服はどのようなものがいいかについて現在話し合っています。今検討している制服はみなさんが着るわけではありません。将来本校に入学してくる生徒のために行っていることです。自分たちは着ないんだからという思いもあるかもしれませんが、実際に現在の制服を着ているみなさんだからこそ言うことができる意見があると思います。これから市内4中学校で、生徒、保護者、教職員、地域の方などの意見をもとにさらに検討を重ねていきます。その時に重要なことは生徒のみなさんがこれからの制服をどう考えていくかです。これは簡単なことではないですが、将来入学してくる後輩のためにも、自分たちで制服を検討していくんだというみなさんの主体的な取り組みを期待しています。

最後に明日から冬休みに入ります。正月には家族とのふれあいの時間を大切にしてください。3年生にとっては、受験に向けた学習をいかに充実させるかが問われる期間となります。コロナ感染だけでなく、インフルエンザの流行も懸念されています。健康が元気のもとです。この冬休みは、病気や事故に気を付け、元気で健康で過ごしてください。



お知らせ①

冬休み中の連絡について

冬休み中に次のことが発生し、学校に連絡をとる場合は、コドモンにて袋井中へ連絡をお願いします。

- 1 重大事故 ～命にかかわるような事故が起き、子どもが救急搬送された
- 2 重大事件 ～警察が介入した子どもに関わる事件が起きた

なお、冬休み中の生徒本人や家族が新型コロナウイルスの感染者・濃厚接触者となった際の、報告は必要ありません。

これ以外のことについては、冬休み明けに学校へ連絡をお願いします。

お知らせ②

皆勤賞・精勤賞について

連絡が遅くなりましたが、「皆勤賞・精勤賞」について、新型コロナウイルスの感染など登校に関する考え方が様々な事情により変化してきており、袋井中学校教育振興会の中で話し合いを行った結果、昨年度をもって「皆勤賞・精勤賞」を廃止することになりました。

御理解のほど、よろしく申し上げます。